

第一次世界大戦後の世界

◎中国

年代	出来事等
1946年	国共内戦 国民党(蒋介石)VS共産党(毛沢東) →農民などを中心に共産党が支持を集め、国民党は台湾に逃れて政権を獲得する。 ※アメリカは台湾(中華民国)を中国の正式な政府代表とする立場をとる。
1949年	中華人民共和国(中国)建国 ※ 毛沢東 を国家主席、 周恩来 を首相とする。
1950年	中ソ友好同盟相互援助条約を締結。 →社会主義圏に属する事を明確化。
1953年～	第一次5カ年計画
1958年～	第二次5カ年計画 →工業と農業などの大躍進政策が発動されるが、 失敗 におわる。 毛沢東 は国家主席を 劉少奇 に譲る。
1966年～ 1976年	プロレタリア文化大革命 ・・・毛沢東が国家・党に残存する資本主義的思想や官僚制を取り除いた。 → 劉少奇 、 鄧小平 などを追放した。

◎ドイツ

年代	出来事等
敗戦後	ドイツは、 <u>ポツダム協定</u> により、 <u>アメリカ・イギリス・フランス・ソ連の4ヶ国</u> により <u>分割占領</u> の状態となっていた。
1948年	ソ連が <u>ベルリン封鎖</u> を実行 →6月に米・英・仏の占領地域で通過改革が実施されたため、西ベルリンを全面封鎖した。
1949年	ドイツ連邦共和国(西ドイツ)とドイツ民主共和国(東ドイツ)が建国される。 →東西ドイツの分裂が決定的となった。
1961年	東ドイツが <u>ベルリンの壁</u> を構築
1989年	ベルリンの壁崩壊
1990年	東西ドイツ統一(当時、首相は <u>コール</u>)

◎イギリス

年代	出来事等
大戦後 (1945年～)	<u>アトリー</u> 労働党内閣にて、 <u>石炭・鉄鋼や銀行など重要産業</u> が <u>国有化</u> された。 また、国民保険制度も導入された。

◎アメリカ

「冷戦」の事項で詳しく取り扱う

◎フランス

年代	出来事等
1946年～ 1954年	インドシナ戦争 →フランス領であったインドシナ半島でホー=チ=ミンを中心に反仏運動が展開され、1945年にベトナム民主共和国建国宣言が行われ、これを認めないフランスが戦争を起こした。
1954年	ディエンビエンフーの戦いにてフランスが大敗。 →ジュネーブ休戦協定にてフランス軍は撤退。
1958年	アルジェリア問題(アルジェリアが独立を求めて武装蜂起などを起こす)解決のためド=ゴールがフランス首相になる。 9月、ド=ゴールが第五共和制憲法を起草し、国民の支持を受け成立した。 ド=ゴールは第五共和制初代大統領となった。
1966年	ド=ゴールにより、NATO(北大西洋条約機構)から脱退した。
1981年～ 1995年	ミッテランが大統領を努める

◎ソ連

年代	出来事等
1953年	スターリン死去
1955年	共産圏諸国とワルシャワ条約機構を結成し、結束した。
1956年	フルシチョフがスターリン批判の演説を行う。 ・西側との平和共存路線への転換を図る。 ・共産党一党支配は否定しなかった。
1956年	6月、ポーランド反ソ運動が起こったが、これを軍事介入で鎮圧した。
1956年	10月、ハンガリー反ソ運動が起こったが、これを軍事介入で鎮圧した。
1964年	ブレジネフが第一書記に就任。
1968年	チェコ=スロヴァキアで民主化運動が起こる(プラハの春)。 →ブレジネフによって、軍事弾圧に踏み切った。